

次の古文を音読し、現代語訳を参考にして、あとの問いに答えなさい。

仁和寺の法師、童わらはの法師にならんとする名残なごりとて、おのおのあそぶ事ありけるに、酔よひて興きょうに入るあまり、傍かたはらなる足鼎あしがなへを取りて、頭かしらに被かづきたれば、⁽¹⁾ つまるやうにするを、鼻はなをおし平ひらめて、顔かほをさし入れて、⁽²⁾ 舞まひ出いでたるに、満座興まんざきょうに入る事かぎりなし。

しばしかなでて後、抜ぬかんとするに、⁽³⁾ 大方たうほう抜ぬかれず。酒宴しゆえんことさめて、⁽⁴⁾ いかがはせんとまどひけり。とかくすれば、頸くびのまはりかけて、血垂ちり、ただ腫はれに腫はれみちて、息もつまりければ、打ち割わらんとすれど、たやすく割われず。響ひびきて堪たへがたかりければ、かなはで、すべきやうなくて、三足みつあしなる角つのの上に、帷子かたびらをうち掛けて、手をひき杖つゑをつかせて、京きやうなる医師いしのがり、率ひらて行きける道すがら、人の怪あやしみ見る事限かぎりなし。

〔徒然草〕

〔現代語訳〕

仁和寺の僧侶が、兎が一人前の僧侶になろうとするその別れと云って、みなが遊宴する事があつた時に、酔つて

興にのるあまりに、そばにあった足鼎（食べ物煮る三本足の金属製の器）を取って、頭にかぶったところ、つかえるようなのを、鼻をおして平らにして、顔をさしこんで舞い出たので、一座の者はみなこの上なくおもしろがった。

しばらく舞を舞つて後、抜こうとしたところが、まったく抜くことができない。酒宴は興がさめて、どうしようかとあわてふためいた。⁽⁶⁾あれこれすると、首のまわりが切れて血がたれ、すっかりはれあがつて、息もつまったので、打ちわろうとするけれども、簡単にはわれず、ひびいて耐えられなかったので、どうしようもなくて、三本足の角の上に、帷子をうちかけて、手をひき杖をつかせて、京にいる医師のもとに、つれて行った道の途中、他人が不思議がつて見ることはこの上ない。

問1 傍線部(1)の部分を現代仮名遣いに直しなさい。

問2 傍線部(2)の主語として最適なものを次の中から選び、番号を書きなさい。

- ①おのおの ②仁和寺の法師 ③満座の人 ④童

問3 傍線部(3)・(4)にあたる現代語訳を抜き出しなさい。

問4 傍線部(5)・(6)にあたる古文を抜き出しなさい。

問5 本文から考えられる教訓として最適なものを次の中から選び、番号を書きなさい。

- ①思わぬことが悲劇につながる。
②人の笑いものになってはいけない。
③みんなに迷惑をかけてはならない。
④物をかぶるときには注意しなければならない。

次の古文をよく読み、あとの問いに答えなさい。

孟宗はいとけなくして父に後れ、ひとりの母を養へるに、母、年老いてつねに病みいたはり、食の(1)あぢはひも度ごとに變はりければ、(2)よしなき物を望めり。冬のことなるに、竹子を(3)ほしく思へり。すなはち孟宗竹林に(4)行き求むれども、雪深き折なれば、などかたやすく得べき。「ひとへに天道の御あはれみを頼みたてまつる」と祈りをかけて(5)大きに悲しみ、竹に寄り添ひけるところに、にはかに大地ひらけて、竹子あまた生ひ出ではべりける。大きに喜び、すなはち取りて帰り、あつものにつくり、母に与へはべりければ、母これを食してそのまま病も癒えたり。

〔御伽草子〕

5

問1 傍線部(1)を現代仮名遣いに直してすべてひらがなで書きなさい。

問2 傍線部(2)の現代語訳として最適なものを次の中から選び、番号を書きなさい。

- ① 高価なものをほしがった。
- ② 地上にないものをほしがった。
- ③ 手に入りにくいものをほしがった。
- ④ 病気に悪いものをほしがった。

*いとけなくして父に後れ〓おさないころ父に先立たれ。
 *つねに病みいたはり〓病気がちであつた。
 *などかたやすく得べき〓どうして簡単に手に入ろうか。(いや手に入らない。)
 *あまた〓たくさん。
 *あつもの〓吸物、ここでは煮物くらいの意味。
 *癒えたり〓治つた。

問3 傍線部(3)～(5)の主語を古文中の言葉で書きなさい。

問4 本文を内容のうえから二つの段落に分けるとすれば、どこで分けるのが最も適当ですか。後半の段落の最初の四文字を抜き出して書きなさい。

問5 本文に含まれている教訓として最適なものを次の中から選び、番号を書きなさい。

- ① 親子のきずなは堅い
 - ② 孝心は天に通ずる
 - ③ 自然の恩恵は偉大である
 - ④ 不幸は幸福の種になる
-

《補充問題》 口語文法 形容詞・形容動詞

問1 次の傍線部について、「品詞名」と「活用形」を答えなさい。

- ① 君は僕に優しく語りかけた。 ② たいそう見事な作品だった。
③ 彼女に会えたら楽しかろう。 ④ 愉快に過ごすことができた。
⑤ もしよければ来てください。 ⑥ あわれで涙が出てしまった。
⑦ とてもおいしゅうございます。 ⑧ 思ったほど暑くない。

問2 次の文章から形容詞・形容動詞を抜き出し、それぞれ活用形を答えなさい。

高価なアクセサリーをした女優が、美しくほえんだ。かわいらしい顔をしている。声もきれいだ。おそらく性格も良かろう。私がもう少し若ければ、彼女のファンになっていたかもしれない。

問3 次の①～④の傍線部について、(ア)か(イ)のどちらが形容詞または形容動詞であるかを選び、記号で答えなさい。

- ① (ア) その花の方が小さいことが判明した。 (イ) 海辺で小さな貝を拾った。
② (ア) 友人からおかしな話を聞いた。 (イ) 友人からゆかいな話を聞いた。
③ (ア) 君が出席できないことを残念に思う。 (イ) 特に先生への質問はありません。
④ (ア) 書類をすみやかに送ってください。 (イ) 書類をただちに送ってください。

問4

次の①～③の文の傍線部のうち、補助形容詞はどれですか。番号で答えなさい。

- ① 私はいつも暇がない。 ② 私は遊ばない。 ③ 私は何もほしくない。

問5

傍線部「土も草も^①ない」「美しく^②ない」「切^③ない気持ちになる」と同じ用法の「ない」を二つずつ選び、

それぞれ記号で答えなさい。

- (ア) 残り少ない日々を大切に^①する。 (イ) 今日はそれほど寒くない^②。
(ウ) 今からでも遅くない^③と思う。 (エ) 彼には威厳がない^①と思う。
(オ) あっけない幕切れであつた。 (カ) そんな話は前例がない^②。